

美味しが良く、おいしい
こんにゃくですよ

生産者さん おじゃまして〜す

ココラボ1周年!

3年間育てた国産芋100% 昔ながらの製法で



芋を丸く切ったこんにゃく

「国産生芋だけでつくったこんにゃく」 ~奈良県・(株)若草食品~

営業部 土本さん

「国産生芋だけでつくったこんにゃく」の特長

- ・生芋100%使用
- ・繊維質が豊富
- ・粉にしていないので繊維が粗く、粒子がまばらなため、美味しが良く、整腸作用に優れている

<ココラボ1周年記念価格>

国産生芋だけでつくった
糸こんにゃくカットタイプ
9月3回 250g 88円

国産生芋だけでつくった
板こんにゃく
9月3回 250g 88円

一般的には「こんにゃく粉だけ」や「こんにゃく芋とこんにゃく粉のブレンド」で作られることが多いこんにゃくへ、生協組合員さんの「本来のこんにゃくが食べたい」の願いを受けて、パルコープの前身生協が設立された1975年からおつきあい、(株)若草食品さんが、伝統的な原料と製法で作っています。

主に群馬県で栽培されている「こんにゃく芋」標高が高く吹き降ろす風で害虫がつきにくく、化学肥料をできるだけ使わずに葉を茂らせます。5月に植えた種芋は、冬の霜を防ぐため11月には一度掘り返して収穫し保存庫で寝かします。翌年また5月に次の畑に植え付けられて11月まで栄養を蓄えて育て、11月にはまた掘り返して保存庫へ…。でんぷんなどの栄養が増えてこんにゃくに適した芋になるまでに3年、そつやって育てた芋だけが「国産生芋」だけでつくったこんにゃくの原料になります。

こんにゃくができるまで



こんにゃく芋をカットするとみずみずしい香りが。

いろいろ教えてもらってうれしかったです。夏休みの絵日記に描きます (みおとちゃん・小2)

こんにゃくを丸めたときスライムみたいでした。こんにゃくいものにおいもふしぎでした (りほちゃん・小2)

こんにゃくが苦手ですが、おいしくいただけただけなので、これを機にチャレンジします。

参加者の感想

こんにゃくいもを3年かけて育てること、すごく大変だと思いました。



過程がわかりました。西都島パル委員会・19名参加 7月26日

~ 2012年 岩手 被災地(陸前高田市) 職員ボランティア活動 ~

<2012年度第2陣>7月16日~20日

パルコープ職員5名

上田さん(鶴見支所)、西村さん(人事教育部)、松原さん(開発部)、四元さん(物流センター)、瀬藤さん



多くの人が亡くなった体育館での献花



鶴見支所 瀬藤さん

今回の訪問で、お母さん方から「支援慣れて、もらいなれたように思われているけど、本当にありがたいのよ。(物資に入っていた)手紙を読んで、返事をしたかったけど、どこに、誰に出せばいいかわからなかったから、来てくれてうれしい。大阪へ帰ったら、皆さんに本当にありがとうって伝えてね」と言葉をいただきました。私に何ができたのか?と思いついてきただけに、パルコープとして、継続して来させていたでいてる私たちでなければできないことがあるのだと、思いを新たにしました。

2012年度の職員ボランティア第2陣では他地区でも好評だった「たご焼き&お好み焼きパーティー」を矢の浦地区仮設住宅で行いました。また、要支援の方への物資支援活動、現地視察を行いました。

第4回(7/20~23) 岩手ボランティアバス報告



農地づくり作業

4月に続き2回目の参加でした。今回も地域の方が「遠いところ来てくれてわざわざありがとう」と声をかけてくださいました。ボランティアは世のため人のために行うのではなく、自分自身のためにあるのだという意識がわかってきました。 (交野市・橋岡さん)

「岩手ボランティアバス」第4回(7月20日~23日)は、計24名の組合員さんが参加しました。参加された組合員さんの声を報告します。



NO.19

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

遠野まごころネット

パルコープの組合員さんが、「大阪から被災地に何かしたい」という思いで「まごころネット募金」を続けていただき、ありがとうございます。遠野まごころネットの支援活動は、「がれき撤去」から復興の「ものづくり」へ遷っています。全国から集まってきているボランティアは、今も1日約50~150人が毎日被災地へ向かっていますが、交通インフラの復旧も進まず、個人で沿岸部に向かうことは未だに困難です。移動の車輛・燃料や宿泊施設の提供、また復興の村づくりのための機材の購入などにも皆さんからの募金がなくてはならない状況が続いています。

被災地では2度目のお盆を迎えました。各地で亡くなられた方の冥福を祈る「灯ろうながし」や「郷土芸能の復活」などがとりくまれました(今年は気持ちの切り替えができ、ようやく来られたとおっしゃる方もおられました)。

東北の夏は短く、夜にはもう秋虫の鳴き声が聞こえています。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)



参加者募集 第12回「岩手ボランティアバス」

- 【日程】10月5日(金)~10月8日(月・祝)
- 【申込締切】9月14日(金)
- 【募集定員】20名(3生協で60名)
- 1度参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります。
- 【参加費】8,700円(ボランティア保険・宿泊費、食代など含む)
- 【行程】3泊4日(車中2泊)
- 1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時)<車中泊>
- 2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動(終日)<宿泊泊>
- 3日目 ボランティア活動(午前)、被災地視察(午後)<車中泊>
- 4日目 パルコープ本部前到着(9時頃)
- 【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。複数名参加可。
- *ボランティアの内容は、現地での要請に基づいて活動します。
- *持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します。
- *天候不順により中止になる場合があります。
- 【申し込み・問い合わせ】パルコープ理事会室 ☎06-6242-0904 (月~金 9時~18時)

「遠野まごころネット募金」にご協力ありがとうございます
パルコープでは累計2,209万4,314円をお預かりしています(2012年7月20日現在)。ひきつづき、募金にご協力をお願いします。

*ボランティアバスのご案内は、ホームページでも掲載しています。http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/tour2.html
*ボランティア活動報告もホームページに掲載しています。http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai